

夕陽丘基金へのご協力のおねがい

夕陽丘基金は個人の方、グループの募金、寄付で成り立っています。
お預かりしたお金は、緊急保護施設での支援を必要としている人へ、
または支援活動をしている団体に活用されています。

寄付金の振込先

◆郵便振替口座：00990-7-190552

◆口座名義：夕陽丘基金



平成 30 年度ご寄付いただいた団体のみなさま

大阪市地域女性団体協議会・大阪市ひとり親家庭福祉連合会・大阪 I ゾンタクラブ
大阪ヴァイオレットライオンズクラブ・大阪はなみずきライオンズクラブ
国際ソロプチミスト大阪－梅田

夕陽丘基金に関するお問合せ先

事務局：一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会

所在地：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央内

電話番号：06-7656-9040

ひとりで悩まないで、まずは相談してください。

・大阪市配偶者暴力相談支援センター

DV 相談専門電話 06-4305-0100
月～金 9:30～17:00

・クレオ大阪女性総合相談センター

総合相談受付 06-6770-7730
悩みの電話相談 06-6770-7700
火～土 10:00～20:30 日・祝 10:00～16:00

DVから逃れて安全を確保したいとき

- ・各区役所 保健福祉課 月～金 9:00～17:30
- ・各警察署 生活安全課 緊急時は110番
- ・子どもに関する相談
大阪市の児童虐待ホットライン 0120-01-7285 24時間対応



DVの防止 被害者の保護・自立支援のための

夕陽丘基金 ニュース

第15号



イラスト：夕陽丘基金「手とハート」

発行：一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会内 「夕陽丘基金」運営委員会事務局
〒543-0002 大阪市天王寺区上汐 5-6-25 T e l : 06-7656-9040 F a x : 06-7656-9045

特集1. 新しいチャリティグッズができました！

DVやデートDV防止にむけた啓発とDVの被害者保護と自立支援活動
の応援となるチャリティグッズに、新しい仲間ができました！

今回作成したのは、2種類のトートバッグ。裏面に、夕陽丘基金の
白抜きロゴマークが入っています。



買い物やアウトドアにも、
A4が入るのでサブバッグにも
役立つサイズです

トートバッグ 500円(税込み)
サイズ：約28.5(高さ)×27(幅)×15.5(まち)cm
材質：ポリエステル
カラー：ブルー・ピンク・イエロー



カジュアルトート 500円(税込み)
サイズ：約34(高さ)×20(幅)×7(まち)cm
材質：ポリエステル
カラー：ブルー・ピンク・イエロー

特集2. 「女性に対する暴力をなくす運動」期間啓発事業

講演会「子どもや女性への暴力と虐待の現実 ～児童虐待・DVの連鎖をなくすために～」

日時：令和元年 11 月 16 日(土) 午前 10 時 30 分～ 12 時

場所：クレオ大阪中央 ホール

講師：山縣 文治さん (関西大学人間健康学部教授・厚生労働省 社会保障審議会児童部会
児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会委員長)

雪田 樹理さん (弁護士、特定非営利活動法人いくの学園 理事長、
特定非営利活動法人性暴力救援センター・大阪 SACHICO 運営委員)

コーディネーター：細見 三英子さん (ジャーナリスト、夕陽丘基金運営委員)



児童虐待防止の「オレンジリボン」
女性への暴力防止の「パープルリボン」
二つのリボンが一つのハートになり
暴力の根絶をめざします

平成 30 年度「夕陽丘基金活動報告」

夕陽丘基金とは

◇ 寄付金の収受等

収入総額 1,111,268円

☆大阪市地域女性団体協議会（区 / 分会）

18件 227,053円

☆団体・グループ・個人

17件 671,881円

☆バッジ・絵葉書のチャリティグッズ等 47,300円

☆貸付返済金

21件 165,000円



◇ 緊急一時保護施設入所のDV被害当事者への資金貸し付け

貸付総額 31件 260,500円

（内訳：生活費 202,000円 交通費 19,000円 手続き費用 39,500円）

◇ 夕陽丘基金設立15周年記念シンポジウム

DV被害者支援の実情 ～「夕陽丘基金」がつないだ15年とこれから～

日時：平成30年11月18日（日） 午後1時30分～3時30分

場所：クレオ大阪中央 ホール

プログラム

第1部 代表挨拶・感謝状の贈呈

第2部 講演「DVからの回復」

講師：栗岡多恵子さん（Brisa ブリーザ主宰、元タカラジェンヌ）

トークセッション「DVからの回復～当事者と支援の現場から」

細見三英子さん（ジャーナリスト・夕陽丘基金運営委員）

栗岡多恵子さん（Brisa ブリーザ主宰、元タカラジェンヌ）

大阪市配偶者暴力相談支援センター



参加者：351名

「夕陽丘基金」はすべて市民の皆様一人ひとりの募金から成り立ち、DV根絶をめざし、被害者の方が一日も早く再出発ができるようにという願いをこめた募金です。

■夕陽丘基金の設立

「夕陽丘基金」は大阪市が行う施策と連携して、現在の公的制度で十分な支援が受けられない状況にあるDV被害者やその同伴者（おもに子ども）に対して、経済的な援助を行い、心身の回復を図り、自立を支援することを目的に平成16年3月23日に大阪市の女性団体などが設立しました。「夕陽丘基金」は配偶者からのDVを逃れて緊急一時保護施設に避難した被害者への支援をおこなっています。



例えばこんなことに活用されています（ほんの一例）

○保護命令の申請に要する費用（切手代、収入印紙代など）

○一緒に連れてきた赤ちゃんや幼児の着替え、おむつなど育児用品の購入

○仕事や家を探すときの交通費、ケガや病気の治療費

募金を活用し、新しい生活を始められた方のなかには、“被害を受けた方にお役立てください”と、お金を返してくださる方も少なくありません。DVは被害者の多くが女性であり、年々相談件数も増加しています。DVから生命からがら避難した人の中には配偶者が生活費を渡さない、働くことを邪魔されるといった『経済的DV』を受けていた人もいて、経済面でのハンデがとても大きい現状があります。

「夕陽丘基金」での活用は、ほんの一例にもあるように金額的には必ずしも高いものではありませんが、着の身着のままで避難してきた人にとっては『かけがえのない援助』です。これを再出発の第一歩にして、新しい生活をスタートさせて頑張っている人が多くおられます。

これからもDVの根絶と、DV被害者の自立を応援する「夕陽丘基金」の活動の輪をもっと広げていくために、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

データでみる児童虐待とDV

家庭という密室で起きる暴力

児童虐待による痛ましい死亡事故の報道が続いています。

千葉県野田市での虐待事件では、両親が傷害容疑で逮捕されましたが、母親からDV被害相談が事件前から自治体に寄せられており、DVの支配下に置かれた親が、子どもを守ったり、助けを求めることの難しさが指摘されています。

厚生労働省は、児童虐待防止法の改正にむけて、児童相談所とDVの相談機関（配偶者暴力相談支援センター）の連携強化等を検討しています。「家庭という密室で起きる暴力」を根絶するためには、児童虐待とDVの両方の視点を持った支援が必要とされています。

平成30年度に全国210か所の児童相談所での児童虐待相談対応件数は、159,850件と増加の一途です。

主な要因として、心理的虐待に係る相談対応件数の増加と、児童が同居する家庭における配偶者に対する暴力がある事案（面前DV）について警察からの通告の増加が報告されています。

